

## 平成30年度 教育部長の目標宣言

部長メッセージ	教育部長 谷亀 博久
<p>平成30年度を始期とする「伊勢原市第2期教育振興基本計画」に掲げられている基本理念「人がつながり未来を拓く 学びあうまち伊勢原」の具現化に向けて、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの「生きる力」を育むとともに、生涯学習活動の推進や貴重な歴史や文化財を活かして、誰もが生涯にわたって相互に支え合い・学び合い、夢や目標を持って生き生きと暮らせる地域社会をめざし、具体の取り組みを進めます。</p> <p>また、第5次総合計画に掲げる将来都市像である「しあわせ創造都市いせはら」の実現に向けて、市長部局や関係機関と連携のもと、市民活動団体や地域の方々との協力を図り、職員一丸となって各施策の推進に努めます。</p>	
部の主な役割	部を構成する課等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育行政の総合的企画及び調整</li> <li>・教育委員会や総合教育会議の運営</li> <li>・学校施設の維持管理及び保全計画</li> <li>・文化財の保護・保存及び活用、市史編さん</li> <li>・社会教育の振興及び生涯学習の支援、公民館の運営</li> <li>・図書館・子ども科学館の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育総務課</li> <li>歴史文化担当</li> <li>社会教育課</li> <li>図書館・子ども科学館</li> </ul>

部の取組方針	
1	<p><b>【学校施設の改修と適正な維持管理を行います】</b></p> <p>児童生徒の教育環境の向上に向けて、トイレ等の整備を進めるとともに、施設・設備等の適正な維持管理に努めます。</p> <p>また、将来の学校施設の在り方の検討を行い、長寿命化計画策定の準備を進めます。</p>
2	<p><b>【歴史や文化遺産を活かした地域活性化を進めます】</b></p> <p>豊かな歴史の中で育まれてきた数多くの文化財の保護や多角的な活用に向け、「歴史文化基本構想」や「日本遺産」を活かし、歴史や貴重な文化遺産の魅力を効果的に発信し、様々な人が歴史・文化遺産に親しみ・触れる機会の充実を図り、市民の郷土に対する理解を深め、地域の活性化を推進します。</p>
3	<p><b>【生涯学習活動を支援し学びあうまちをめざします】</b></p> <p>誰もが生涯にわたり学習することができる環境を整えるため、生涯学習事業の充実や芸術文化活動に親しむ機会を提供し、生き生きと心豊かに暮らすことができる学びを活かすまちをめざします。</p> <p>また、「公共施設等総合管理計画実施計画」に掲げる、大田公民館と大田ふれあいセンターの統合や受益者負担の導入について、関係課と連携し取り組みを進めます。</p>
4	<p><b>【図書館・子ども科学館事業を充実します】</b></p> <p>市民の読書活動の普及促進を図るため、図書館ボランティアと連携し、特色のある図書館サービスを提供し市民の生涯学習活動を支援します。また、子ども科学館では、企業や大学、学校との連携、支援会員の協力により、科学の世界の不思議さや楽しさを体感することで「科学する心」が大きく育つよう、さまざまな事業を展開します。</p> <p>また、「公共施設等総合管理計画」に基づき、図書館・子ども科学館の機能の複合化等の検討を進めます。</p>

具体的な取組と達成目標

NO	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標
1	学校施設の適正な維持管理  (教育総務課)	教育環境の向上に向けた改修や修繕を実施するとともに、学校施設の快適な環境を保持するため、適正な維持管理に努めます。  また、老朽化した校舎等の維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るための長寿命化計画の策定の準備を進めます。	・受水槽の更新工事 小学校1校 ・校舎及び体育館のトイレの改修工事設計業務 小学校2校
2	歴史・文化遺産を活かした地域活性化事業  (歴史文化担当)	地域の歴史や文化遺産の保護・活用と適切な継承を図るとともに、「歴史文化を活かした地域づくり協議会」や「日本遺産協議会」の事業を支援し、地域活性化と魅力あるまちづくりを推進します。	・指定登録制度の活用による文化財の保護 ・「歴史文化を活かした地域づくり協議会」や「日本遺産協議会」の事業の支援
3	生涯学習活動の推進  (社会教育課)	生涯学習情報をわかりやすく提供し、生涯学習活動への参加を促進するとともに、自主的な活動を推進するリーダーの養成や活動団体による学びあいや学びを活かす取り組みを展開します。  また、大田公民館と大田ふれあいセンターの統合と受益者負担の導入を進めます。	・学習情報提供やホームページの充実 ・9月議会において、大田公民館と大田ふれあいセンターの統合と受益者負担の導入に関する条例の改正を行う
4	図書館・子ども科学館事業の充実  (図書館・子ども科学館)	図書館ボランティアや子ども科学館支援会員の協力を得て、各世代に向けたさまざまな事業を展開し、読書活動の普及や創造性豊かな青少年の育成に努めます。  また、子ども科学館の機能の複合化や他機能への転換について、関係課等と協議を重ね検討を進めます。	・新たに図書館においてボランティア活動を始める人数 5名 ・科学館支援会員の活動時間 600時間